

「感じ」「動き」「かわる」…田平東小は今年度創立150周年!



さくらの学校だより

平戸市立田平東小学校 学校だより 令和7年1月8日 文責:校長 森川 稔



明けましておめでとうございます!

新年、明けましておめでとうございます。令和7年、西暦2025年の幕が開きました。保護者ならびに地域の皆様方もそれぞれに思いを新たに、新年を迎えられたことと思います。昨年は創立150周年をはじめ、様々な形で本校への温かなお力添えを数多く賜り本当にありがとうございました。

いよいよ今日から3学期がスタートします。これまで同様、全校68名の子どもの健やかな成長と幸せを願って、変わらぬご支援・ご協力をどうぞよろしくお願い致します。

昨年末は感染症が広がり、冬期休業中も体調不良の子やご家庭もあったと聞いています。本日も体調不良で欠席の子もいて、残念ながら全員そろってのスタートとはなりませんでしたが、一日も早い回復を願っています。

さて、例年になく温暖な気候の中でスタートした令和7年、今年巳年、しかも暦の上では60年に一度巡ってくる「乙巳(きのとみ)」の年にあたるそうです。ちょっと意味を調べてみると、

そもそも干支(えと)とは、十干(じっかん)と十二支(じゅうにし)の組み合わせによって構成されていて、2025年、十干の2番目に位置する「乙(き)」は、「木」の性質をもつことから新たな成長の芽吹きを象徴する。十二支の6番目に位置する「巳」は「火」の性質をもち、物事の成長や完成のプロセスを意味する。

とありました。ちょっと難しいですが、とにかく「若いエネルギーが発展していく特別な年」とされているそうです。

150周年を迎えた本校で学ぶ子どもたち、そしてそれを見守り支えて下さる保護者や地域の皆様にとりましても、新たな一步を踏み出す絶好の機会と捉えています。

3学期の登校日数は50日、ひとあし早く卒業を迎える6年生にとっては47日という短い期間です。始業式でも話しましたが、学年のまとめと新年度の進級進学において、この3学期をどう過ごすかということが大切です。すべての子が『巳(み)んな笑顔で楽しい学校生活』を送れるよう、職員も一丸となって、これまで以上に一人一人の子どもたちに寄り添い、関わって参る所存です。



新春の初日の出(平戸でなくてすみません)

へび年…^み巳年
「感じ」「動き」「かわる」
3学期に!
んなでいっぱい
わらせる
田平東小に!

20才のつどい

1月3日に平戸市の「20才のつどい」に出席してきました。残念ながら本校出身の子がどれくらいいたのかわからず、まったく知っている人はいませんでしたが、先述の「乙巳（きのとみ）」の年のように、企画から運営まで各中学校区の代表が発起人となって動いている姿に、若いエネルギーを感じました。

この若い世代の人たちが、今後の平戸市や田平町を引っ張ってさらに発展させてくれることを願っています。とてもすばらしいつどいでした。



気持ちを新たに3学期も…

1学期末同様、昨年末の2学期終了後にも本校の先生方全員で教育活動の振り返りを行いました。たくさんの成果とともに今後の課題も出されましたが、その中の一つに「**家庭との連携，連絡を密にする**」ということが出され、3学期以降は重点的に意識していくことを確認しました。



お子さんのことについて、保護者の方に連絡をした際や学級懇談会の折に、「子どもが家で学校のことを話さないで知らなかった」「もっと早く連絡がほしかった」等のご意見をいただくことができました。

学校でも、担任(担当)の指導で改善を期待できるもの、子どもたち同士の話し合いで解決できるものなどについては、連絡帳や電話等で連絡をさせていただいていましたが、今後は、小さな事でも連絡をさせていただきます。お子さんの健やかな成長のためには、学校と家庭、地域の密接な連携が不可欠です。

そこで、新年早々再度のお願いで恐縮ですが、3学期の始まりに際し、以下の点についてご協力をお願いいたします。

- 学校でのお子さんの気になる面、疾病、けが、友だちとのトラブル等については電話や連絡帳等でその日のうちに連絡させていただきます。
- 状況によってはご家庭に訪問させていただいたり、ご来校をお願いしたりすることもあります。
- 連絡帳での担任の記述については、目を通していただいたら必ずサイン(押印)等、保護者の方の確認をお願いします。
- 学校からの配付物やメール等には、ご多用とは存じますが必ず目を通していただきますようお願いいたします。
- 学校のことやお子さんのことでご質問やご意見があられたらご遠慮なくご連絡下さい。

以上、よろしく申し上げます。あらためて、3学期もよろしく申し上げます！

田平東小HPはこちらから→

